

# 平成 21 年度 川崎市国際交流センター 事業報告書

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

## <情報資料収集・提供及び広報出版事業>

### ■ 図書・資料室の運営

川崎市国際交流センターの図書・資料室の運営において、図書、資料、新聞、雑誌、ビデオなど国際交流関係図書等の充実を図るとともに、利用者への情報提供を行った。

- (1) 利用時間 午前 10 時～午後 8 時 (開館日)
- (2) 利用対象 小学校高学年以上
- (3) 複写 1 枚 10 円 (資料の必要箇所を著作権法の範囲でコピー可とした。)
- (4) 閲覧等 閲覧利用とし、学校等公的団体への貸出しを行った。
- (5) 利用者数 10,980 人
- (6) 閲覧件数 図書等 (1,423 件) ビデオ (385 件) CD (67 件) DVD (12 件)
- (7) 閲覧図書上位 1. 辞書・辞典・事典 2. 日本関連図書 3. 一般児童書・絵本  
4. 海外旅行・海外生活紹介図書 5. 語学学習図書
- (8) 蔵書数

書 籍	13,360 冊 和図書 11,217 冊 外国語図書 2,143 冊
新 聞 (日刊・週刊など)	23 紙 英語 1 紙 韓国・朝鮮語 1 紙 中国語 4 紙 ポルトガル語 1 紙 スペイン語 1 紙 日本語 12 紙 フィリピン語 1 紙 日本語 / 中国語 1 紙 日本語 / フランス語 1 紙
情 報 誌	87 誌 和雑誌 52 誌 外国語雑誌 13 誌 在日外国人向け生活情報誌 22 誌
ビデオテープ	474 巻
新聞スクラップ	98 タイトル 390 ファイル

(平成 22 年 3 月末現在)

## (9) 資料の分類

一般図書 (和書・ 海外図書)	国際交流・ 国際関係	000 国際交流 010 戦争と平和 020 人権問題 030 開発援助 040 地球環境問題	050 在日外国人問題 060 日本人(海外生活) 070 語学学習 080 国際関係 090 その他
	各国別図書	100 日本 200 アジア 300 ヨーロッパ 400 アフリカ	500 北米 600 中南米 700 オセアニア 800 世界
	その他図書	900 参考図書 910 辞書・辞典・事典 920 便覧・ハンドブック 930 名簿・ダイレクトリー	940 年鑑・白書 950 法令集 960 地図 990 児童向け図書
雑 誌	和雑誌・外国語雑誌		
新 聞	日本・海外		
ビデオ/DVD	日本紹介・海外紹介など		
C D	語学学習		
そ の 他	各都道府県交流協会情報紙・NGOニューズレター・ 各国大使館、観光局資料・新聞スクラップ		

## (10) 各国語の新聞リスト

新 聞 名	言 語	頻 度	出 版 地
INTERNATIONAL PRESS	ポルトガル語	週刊	日本
INTERNATIONAL PRESS	スペイン語	週刊	日本
THE JAPAN TIMES	英語	日刊	日本
人民日報(海外版)	中国語	日刊	中国
中日新報	日本語/中国語	月刊	日本
大富報	中国語	隔週刊	日本
留学生新聞	中国語	隔週刊	日本
日中新聞	中国語	週刊	日本
日中新聞	日本語	週刊	日本
中国巨龍	日本語	週刊	日本
東亜日報	韓国・朝鮮語	日刊	日本
東洋経済日報	日本語	週刊	日本
民団新聞	日本語	週刊	日本
PINOY GAZETTE	フィリピン語	隔週刊	日本
OVNI	フランス語/日本語	隔週刊	フランス

※中国語新聞の多くは寄贈によるもの

(平成22年3月末現在)

## ■情報ロビー等の運営

国際交流センターの各種施設を活用し、市民及び外国人への情報提供を行った。

(1) 外国人への情報提供（情報ロビー）

外国語専用のパンフレットコーナー及び掲示板を設置し、外国人市民への情報提供を行った。

(2) 姉妹・友好都市の紹介（ギャラリー）

姉妹・友好都市との盟約書及び記念品等を展示し、姉妹・友好都市の紹介を行った。

(3) 国際交流に関わる情報提供（談話ロビー、プロムナード）

国際交流や国際協力、また他団体などの各種事業、イベントなどのポスター、チラシ、パンフレットを掲示・配布し、市民への情報提供を行った。

(4) 国際交流に関わる情報交換（談話ロビー）

市民や外国人市民、団体などからの情報をメッセージボードに掲示し、相互の情報交換を行った。（利用件数 64件）

(5) 各国紹介パネルの展示（プロムナード）

在日大使館などから提供されたポスターをパネルとしてプロムナードに掲出し、紹介するとともに、センターの国際的な環境づくりを行った。

## ■センターホームページ等の運営

国際交流センターのホームページならびに館内のインターネットを通じて、各種の情報提供を行った。

(1) ホームページの運営

国際交流センターの専用ホームページを通じて、センター施設の紹介及びセンター事業の広報ならびに情報提供を行った。また、ホームページの迅速な更新を行った。

（アクセス件数） 47,300件（129アクセス/日）

（更新数） 471回

（URL） <http://www.kian.or.jp/kic/>

(2) インターネット用パソコンの設置

インターネット接続のパソコン2台を設置し、市民への情報提供を行った。

（利用時間） 午前9時30分～午後8時00分（休館日を除く）

（利用内容） インターネットの閲覧のみ。

（利用料） 無料。1回あたり30分まで （利用件数） 2,645件

## ■国際交流センターだより等の発行

### 1 「国際交流センターだより」の発行

- (目的) 国際交流センターをより身近な施設として利用していただくため、センターの催し物や講座、施設についての情報をニュースレター形式で発信した。
- (発行) 年間11回(月刊、但し、7・8月号は合併号とした。)
- (部数) 4,000部/回
- (内容) ○月間の行事予定   ○講座及び行事の募集   ○図書・資料室の注目新書紹介  
○施設点検日のお知らせ   ○その他
- (配布先) 各区役所、市民館、図書館など公共施設、中原区住吉地区町内会に回覧、その他関係機関など

### 2 かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」(シグナル)の発行

- (目的) センター等の事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動などを紹介し、国際交流について広く市民に情報を提供した。
- (発行) 年4回(季刊)
- (発行部数) 4,000部/回
- (編集等) 協会所属のボランティアが編集、取材、原稿作成、校正、発送などを行った。
- (配布先) 各区役所、市民館、図書館などの公共施設、市内小中学校、ボランティア、関係団体等

## 〈研修事業〉

### ■日本語講座

外国人市民等の日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数の日本語講座を通年にわたり開講した。また、受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

#### (1) 日本語講座の開催

(開催講座)

○午前コース (10:00~12:00) 年間3期、週2回 (火、金)、託児を実施

1学期: 4/21~7/10 (22回)、2学期: 9/15~12/8 (23回)、3学期: 1/15~3/9 (16回)

○夜間コース (18:30~20:30) 年間3期、週1回 (水)

1学期: 4/15~7/15 (12回)、2学期: 9/2~12/16 (15回)、3学期: 1/13~3/10 (9回)

(講師) 協会登録の日本語ボランティア講師

(場所) 川崎市国際交流センター・会議室

(受講者数) 延べ 405名 (41の国・地域)

#### (2) 特別講座等の開催

受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

①市内見学 (5/22) 東芝科学館 外国人57名

②手芸講習会・第1回 (7/4) 外国人18名

③手芸講習会・第2回 (12/5) 外国人18名

④盆踊り体験 (夜間クラス対象) (7/15) 外国人26名

⑤梨もぎ体験 (9/5) 外国人11名

⑥書道体験 (午前クラス対象) (11/17) 外国人35名

⑦書道体験 (夜間クラス対象) (12/16) 外国人35名

⑧生け花体験 (2/9) 外国人8名

⑨はがき絵体験 (3/10) 外国人31名

⑩生け花体験 (3/9) 外国人8名

#### (3) 日本語講座ボランティア登録事前研修

日本語講座ボランティア講師の登録を目的として対象に事前研修を開催した。

(日時) 平成21年12月5日、12日、19日

平成22年1月16日、23日、2月6日、13日、20日、27日、

3月6日、13日、27日

各土曜日 午後2時~4時

(講師) 元日本語学校講師

(場所) 川崎市国際交流センター

(参加者) 18名

#### (4) 日本語講座ボランティア研修会の開催

協会登録の日本語講座ボランティアを対象に、ボランティア研修会を開催した。

(日時) 平成22年1月26日(日)午後1時30分～3時30分

(講師) 大学教授、大学講師

(場所) 川崎市国際交流センター

(内容) 初級/中級/上級の教え方のコツ

(参加者) 協会登録日本語講座ボランティア 21名

## ■国際理解講座

市民の国際理解を深めるため、日本語、外国語(英語、中国語)のほかダンスを通じての国際理解講座を開催した。

### 1 国際理解講座

#### (1) 日本語による国際理解講座 1

当協会「国際理解教育推進ボランティア」として登録している講師2名を招き、講師自身の経験をもとに「タイの象」を取り巻く状況や環境問題をテーマとした国際理解講座を開催した。前半は、講師の「元象使い」としての視点から見た「タイの象」の現状についての講演を行い、また講師がタイに在住していた3年間に撮影された記録映像が放映された。後半は質疑応答と交流を行った。

(期間) 平成21年7月19日(日)

(時間) 午後2時～4時

(会場) 国際交流センター2階 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	7/19(日)	「ラックチャーン」 ～知ってください。タイの象のこと～ タイ王国の元象使いの講師による、タイの象についての講演と映像。 象アート(象が鼻で描いた絵)展は、 展示ロビーにて同時開催。	遠藤 明子 中山 雅夫 協会登録ボランティア	40

## (2) 日本語による国際理解講座 2

テーマを「世界の子育て(乳幼児編)」と設定し、協会に「国際理解教育推進ボランティア」として登録している外国人市民を講師に招き、国際理解講座を開催した。前半は、日本で出産、育児を経験した講師の体験や、それぞれの母国の「子育て」と日本の比較などについて写真なども用いて講演を行った。後半は質疑応答と交流を行った。

また、1歳～就学未満の幼児・児童は別室にて保育をつけ、1歳児未満の乳児は受講者(保護者)と入室可にし、より多くの市民が参加できるようにした。

(期間) 平成21年11月19日(木)、11月26日(木)、12月10日(木)

(時間) 午前10時～12時

(会場) 国際交流センター2階 団体活動ルーム

(保育) 国際交流センター2階 協会会議室

(授乳室) 国際交流センター2階 ボランティア活動室

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	11/19(木)	「フランス編」 ・フランスの現状(少子化政策の「成功例」と多様化する家族のかたち) ・日本での子育て	アレクサンドラ・小椋・クレメル 慶応義塾大学講師 協会登録ボランティア	26
2	11/26(木)	「ロシア編」 ・社会主義国ロシアの子育てと女性の働き方、家族の関わり方 ・日本とロシアの子育てのちがい	寺下 タチアナ 協会登録ボランティア	26
3	12/10(木)	「中国(上海)編」 ・「一人っ子政策」の現状と「競争主義社会」における子育て ・上海の子育てトレンド(流行)	李 敏 当協会語学講座講師 協会登録ボランティア	26

延べ 78名

## 2 外国語による国際理解講座

### (1) 英語による国際理解講座 1

当協会登録ボランティアなどの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の英語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。前半は、それぞれの母国の文化や社会問題、日本での異文化体験に関し、講師が選んだテーマについて講義、後半は質疑応答と交流を行った。

(期間) 平成21年5月24日(日)、6月28日(日)、7月26日(日)

(時間) 午後2時～4時

(会場) 国際交流センター2階 団体活動ルーム AB

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	5/24(日)	“Education System in England”	Tim Knight イギリス出身 白百合女子大学講師	46
2	6/28(日)	“Fairy Tales – Not just for Kids”	John Pulaski アメリカ出身 東京女子大学講師 当協会語学講座講師	46
3	7/26(日)	“The Berlin Walls”	Frank Riesner ドイツ出身 千葉大学講師 当協会語学講座講師	46

延べ 138名

## (2) 英語による国際理解講座 2

本講座 1 と同様の内容で、英語による国際理解講座を開催した。

(期間) 平成 21 年 11 月 29 日 (日)、12 月 13 日 (日)

(時間) 午後 2 時～ 4 時

(会場) 国際交流センター 2 階 団体活動ルーム AB

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	11/29(日)	“Ivory Coast –As if you lived there–”	Kouakou Koffi コートジボアール出身 当協会ボランティア	30
2	12/13(日)	“Baltimore, Kawasaki’s 2 <sup>nd</sup> Oldest Sister City”	Ariana Maher アメリカ出身 川崎市国際交流員	31

延べ 61名

## (3) 中国語による国際理解講座

川崎市内に在住している中国出身の協会ボランティア、または大学に在籍している中国人留学生を講師に招き、中級レベル以上の英語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。前半は、それぞれの母国の文化や社会問題、日本での異文化体験に関し、講師が選んだテーマについて講義、後半は質疑応答と交流を行った。

(期間) 平成 21 年 10 月 4 日 (日)、10 月 18 日 (日)、11 月 8 日 (日)

(時間) 午後 2 時～ 4 時

(会場) 国際交流センター 2 階 団体活動ルーム AB



	開催日	内 容	講 師	受講者
1	10/4(日)	我和琵琶情 ～私と琵琶の絆～	王 天舒 専修大学在籍 協会ボランティア	33
2	10/18(日)	美丽的沙漠我的家 ～美しい砂漠が私のおうち～	元 慶 協会ボランティア	32
3	11/8(日)	「文化」の衝突 ～社員食堂での出来事～	孫 勝徳 協会ボランティア	33

延べ 98名

### 3 国際文化理解講座（講座名「ダンスで国際文化理解」）

市民の国際理解を深めるため、それぞれの国の歴史あるいは風土について学ぶとともに、ダンスを通じてその国の文化を体験した。

（期間） 平成22年1月22日（金）から2月9日（火） 4回シリーズ（保育を実施）

（会場） 川崎市国際交流センター・ホール

（時間） 午前10時～12時

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	1/22(金) 10:00～12:00	<b>アルゼンチンタンゴ</b> ・タンゴの歴史、現在のタンゴ事情と音楽についての講義 ・ステップの講習後、曲に合わせてダンスと交流	RIE OGURA & DIEGO MALVICINO 氏	34
2	1/26(火) 10:00～12:00	<b>キューバンサルサ</b> ・キューバの概要、キューバのダンスの歴史、サルサの基本、キューバ音楽で使われている主な楽器についての講義。 ・基本ステップ、ペアでのステップを学び、曲に合わせてダンス。	アレキサンデル氏 デルカード スピカ氏	49
3	2/2(火) 10:00～12:00	<b>タンザニア民族舞踊</b> ・タンザニア人間国宝のフケ・ザウオセ氏と国立歌舞団で行った日本公演のビデオ上映、タンザニアの国についての説明。 ・タンザニアダンスを伝えるグループ「ハクナターブ」のメンバーによ	伊藤宏子 氏 &ハクナターブ のメンバー（太鼓、ギター、踊り）	15

		<p>る生演奏と踊りの披露。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太鼓の音にあわせて、ステップを体験。</li> </ul>		
4	<p>2/9 (火) 10:00~12:00</p>	<p><b>ロシア民族舞踊</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロシアの国、ロシア舞踊についての講義。</li> <li>・ロシア民謡「カリンカ」の曲にあわせて皆でダンス。</li> </ul>	<p>ルザエヴァ マリーナ 氏</p>	27

延べ 125名

## 〈国際交流促進事業〉

### ■日本語スピーチコンテスト

例年の、川崎市内の大学や専門学校の留学生ならびに日本語講座の受講生に加え川崎で働いている方も対象に、川崎市長賞の贈呈など20周年事業として日本語スピーチコンテストを開催し、日本人と外国人との相互理解を深めた。また、交流会を開催し、出演者と一般聴衆、関係者との交流を深めた。

- (期日) 平成22年2月20日(土) 午後1時～午後5時  
(会場) 川崎市国際交流センター・ホール他  
(内容) スピーチコンテスト、交流会  
(主催等) 主催：川崎市国際交流協会  
後援：川崎市、川崎市教育委員会、川崎商工会議所  
協賛：川崎ライオンズクラブ、創作集団にほんご  
協力：東京衣裳きもの学院 (出場者の着物着付け)  
(対象) 日本語を母語としない来日5年以内の外国人の方で、市内の大学、専門学校の留学生、市民館、等の日本語講座の受講生  
(出場者) 17名 (韓国、中国、ミャンマー、フィンランド、タイ、シンガポール、インド)  
(聴衆参加者) 200名  
(休憩時) ボサノバのミニコンサート 出演 マルキーニョス

### ■国際文化交流会

市民の国際理解を深めるため、音楽等を通じた国際文化交流会を開催した。

#### 1 第15回クロコディロスコンサート

ハーバード大学男子学生によるアカペラコンサートを開催し、アメリカの音楽文化を通じて市民の国際理解を深めた。

- (期日) 平成21年6月13日(土) 午後2時  
(会場) 川崎市国際交流センター・ホール  
(内容) 男声アカペラコンサート  
(入場料) 前売り券2,000円 当日券2,500円 小・中・高校生券1,000円  
大学生券1,500円  
(参加者) 107名

## 2 ときめき・世界の音楽シリーズ「魅惑の音楽紀行」

以下のコンサートを開催し、音楽を通じて、市民の国際理解を深めた。

### (1) 坂田明トリオ ジャズ JAZZ コンサート

- (期日) 平成21年10月17日(土) 午後2時  
(会場) 川崎市国際交流センター・ホール  
(後援) 「音楽のまちかわさき」推進協議会  
(内容) サックス、ピアノ、ベースによるジャズの生演奏  
(出演者) 坂田明(サックス)、黒田京子(ピアノ)、水谷浩章(ベース)  
(入場料) 2,000円  
(参加者) 233名

### (2) ロシアへの旅

- (期日) 平成22年2月27日(土) 午後2時  
(会場) 川崎市国際交流センター・ホール  
(後援) 「音楽のまちかわさき」推進協議会  
(内容) ロシア独自の楽器(バラライカ)、ピアノ、メゾソプラノによるクラシック音楽とロシア民謡の演奏  
(出演者) ラリーサ・ゾロトワ(バラライカ)、ワレンチナ・パンチェンコ(ソプラノ)、エレナ・クリシェワ(ピアノ)  
(入場料) 1,500円  
(参加者) 150名

## ■ その他(センター施設環境促進事業)

### 1 川崎市国際交流センター活用企画検討委員会の開催

川崎市国際交流センターの活用促進を図るため、「川崎市国際交流センター活用企画検討委員会」を開催し、協議を行った。

- (期日) 平成22年2月9日(火)  
(内容) ○報告事項  
・協会設立20周年コンサート(11月21日)  
・ボルチモア市交流30周年記念コンサート  
・国際交流センターの稼働率及び利用料金収入の推移について

- 国際交流センターの活用促進について
  - ・施設へのアクセス向上
  - ・外国人相談事業の拡充
  - ・災害時における外国人支援
- 今後の事業（協会など）予定について

## 2 センター施設の改修等

利用者アンケートや要望・苦情に対応するため、以下のとおり川崎市国際交流センター内の改修ならびに施設設備の改善及び備品の買い替え等を行った。

### (1) 施設の改修

#### ① 防火シャッター改修工事

危害防止装置を装着するとともに、必要な工作及び調整を行った。

#### ② 空調リモートユニット補修工事

リモートユニットの機能を維持するために必要な各種部品交換及び調整の補修を行った。

#### ③ 空調設備補修工事

次のロスナイ換気扇(3602番エラーによる不具合)を補修し、必要な工作及び調整を行う。

#### ④ レクリエーションルーム浸水対策改修工事

浸水を防ぐため、排水溝の新設・階段嵩上げ・アルミ建具コーキング打ち替え工事を行った。

#### ⑤ 自動ドア補修工事（センター正面出入口ほか）

自動ドアの不具合箇所を補修し、危険防止策を図った。

#### ⑥ テレビ共同受信設備改修工事

#### ⑦ 駐車場ゲート機器改修工事

駐車場ゲートの機器の不具合があったため、川崎市北部下水管理事務所にあった機器を再利用することにより機器の改修を行うとともに経費の節減を図った。

### (2) センター内の施設改修関係

21年度指定管理費の効率的な執行及び利用料金等の増額により、次期繰越し金が見込まれたことから永年の課題となっていた次の施設改修等を実施し、センター利用者のため、快適な施設整備を図った。

#### ① レセプションルーム内のカーテン取替え

#### ② お茶室等の畳・障子・炉壇の取替え

#### ③ 談話ロビーの椅子・テーブル等の取替え

#### ④ トイレに子供用便座（各トイレ男女ともに1台ずつ設置）

#### ⑤ デジタルサイネージ(電子掲示板)

#### ⑥ プロジェクター、スクリーン2式(有料貸し出し予定)

(3) パンフレット作成

川崎市国際交流センターの施設案内（改訂版）を3,000部作成した。

### 3 市民共同おひさま発電所の見学会

(1) 経過等

平成20年8月に国際交流センターに「市民共同おひさま発電所」が設置された。これは地球温暖化対策問題に取り組む市民が中心となって立ち上げた「市民共同発電所プロジェクト」が市民、事業者から集めた寄付金とグリーン電力基金からの助成金及び a p b a n k からの融資によって、市民自らの手により設置し、川崎市に寄付したものです。

今後は川崎市の再生可能エネルギーの導入を進めるシンボルとして、また、センターを訪れる外国人を含む多くの方々に対して、地球温暖化対策に取り組む川崎市民のメッセージを継続して発信していきます。

(2) 設備の概要

太陽光発電（合計出力）	6.25kW
内訳 国際交流センター陸屋根設置分	4.32kW
プロムナード上部設置部分	1.93kW
事業費 約850万円	
内訳 寄付金	150万円
グリーン電力基金	700万円

(3) 主な見学者等

韓国環境産業技術院代表団、t v k 特別番組出演者、市役所新人研修等

## 〈施設運営及び維持管理業務〉

### ■ 国際交流センターの管理運営

#### (1) 統括業務

○施設の運営及び維持管理業務を円滑に行うため、業務間の調整を行い、職員への教育・指導を行った。

#### (2) 施設利用受付及び案内業務

○来館者に対するサービスに努め、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を誠実に行った。

○国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、ふれあいネットや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供するよう努めた。

#### (3) 施設利用促進業務

○ホームページならびに地域住民への回覧、チラシ等による情報提供を行い、効率的・効果的な利用促進を図った。

○国際交流センターホテルとの連携を図るため、宿泊に係わる利用案内や各種関連事業開催の利便性などについて説明し、施設利用促進を図った。

○随時、施設見学を受けて市民への利用促進を図った。

#### (4) 図書・資料室管理業務

○一般図書の閲覧管理業務のほか、情報文化活動の拠点として国際交流に関わる様々な情報の収集及び分類を行った。

○小学生から高齢者まで幅広い利用者に対し、サービスの提供を行った。

#### (5) 施設・設備の維持管理及び補修業務

○国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び補修業務を行った。

○中央監視システムならびに施設の巡回点検を通じて、諸設備の安全な運転監視と操作を行うとともに、適切な保守管理を実施して予防保全に努めた。

○施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ経済的な補修を実施した。

○施設・設備の劣化状況や異常を早期に把握し、適切な予防措置と迅速な処理を実施して、効果的な管理運営と施設の耐久化を図った。

#### (6) 舞台及びAV機器等維持管理業務

○市民文化の育成と国際文化交流の場とすべく、利用者に対し機器の使用説明と操作指導を行うとともに、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置ならびに機器類の維持管理

を行った。

**(7) 施設警備業務**

○宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携して一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。

**(8) 駐車場管理業務**

○駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図り、事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用が出来るよう配慮した。

○老朽化した駐車場発券機・精算機の入替を実施した。

**(9) 設備保守点検業務**

○施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円滑に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。

**(10) 施設環境衛生管理業務**

○建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い、快適な利用空間を提供した。

○空気環境測定業務 年6回（偶数月）

○飲料水水質検査 年2回（3月・9月） 全項目（53種類）

○害虫駆除消毒 年2回（3月・9月）

○レジオネラ症対策（空調用冷却塔へ水処理剤の投薬実施）

**(11) 施設清掃業務**

○施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。

○施設ごとに材質及び用途に最も適した方法で清掃を実施した。また、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。

○フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。

**(12) 植栽維持管理業務**

○施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。

○イベント広場などの庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場としての環境維持に努めた。

○茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。



## ■ 利用実績

### (1) 平成21年度 川崎市国際交流センター来館者数（月別）

4月	13,859人
5月	13,573人
6月	13,311人
7月	26,300人
8月	11,723人
9月	14,404人
10月	16,342人
11月	17,255人
12月	14,919人
1月	13,920人
2月	14,755人
3月	16,033人
合計	186,394人

※月別の来館者数は、施設利用者、一般来館者、図書・資料室利用者、インターネット利用者、各種講座・イベント等参加者の合計です。

### (2) 川崎市国際交流センター施設利用状況（年間開館日数：346日）

施設名	利用コマ数	稼働率%	施設名	利用コマ数	稼働率%
ホール(264)	667	64.3	特別会議室(28)	82	7.9
レセプションルーム	625	60.2	特別応接室(8)	99	9.5
会議室(第1)(36)	490	47.2	料理室(24)	220	21.2
会議室(第2)(24)	687	66.2	交流サロン(30)	821	79.1
会議室(第3)(24)	606	58.4	茶室	319	30.7
会議室(第4)(30)	566	54.5	レクリエーションルーム	955	92.0
会議室(第5)(30)	588	56.6			
会議室(第6)(18)	827	79.7			
会議室(第7和室)(10)	691	66.6			

(注) 1. ( )は定員

2. 利用コマ数は、利用区分（午前、午後、夜間）合計の実利用数

3. 稼働率は、小数点以下2桁を四捨五入

※申し込みは、川崎市公共施設利用予約システム（ふれあいネット）による申し込み及び抽選。  
但し、ホール、レセプションルーム、特別会議室、特別応接室は直接センターの窓口で受付。